

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17053	障がい者(児)タクシー料金助成事業	課名	地域福祉課 障がい者支援G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務科目	01:一般会計
	基本施策	04:障がい者の自立と社会参加の促進	03:民生費	
	施策の方向	01:障がい者の自立支援	01:社会福祉費	
戦略プロジェクト	-	02:障がい者福祉費		
事業予定期間	H 19 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市タクシー料金助成事業実施要綱	

目的・概要	対象	身体障害者手帳1・2級、療育手帳A・A2、精神障害者保健福祉手帳1.2級の所持者
	目的	重度の障がい者や障がい児がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより、障がい者(児)の外出の支援を行い、社会活動の促進を図る。
概要		道路運送法の許可を受け、市の区域を営業区域としている一般旅客自動車運送事業者と、この事業に協力してもらうための契約を行い、自動車税、軽自動車税の減免や燃料購入費用の助成を受けていない重度の障がい者(児)がその事業者の運行するタクシーを利用する場合に、料金の一部を助成する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	タクシー料金助成	対象者 : 助成額 15,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害以外)、2級所持者、療育手帳A1・A2所持者、精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者  対象者 : 助成額 45,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害)	対象者 : 助成額 15,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害以外)、2級所持者、療育手帳A1・A2所持者、精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者  対象者 : 助成額 45,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害)	対象者 : 助成額 15,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害以外)、2級所持者、療育手帳A1・A2所持者、精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者  対象者 : 助成額 45,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害)	
	年度実績	対象者 : 助成額15,000円 対象者1,023人 交付者294人  対象者 : 助成額45,000円 対象者143人 交付者36人	対象者 : 助成額15,000円 対象者1,029人、交付者252人  対象者 : 助成額45,000円 対象者137人、交付者36人		
事業の計画・実績	計画額	事業費	4,800千円	5,200千円	5,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	3,269千円	3,400千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	2,842千円	2,345千円	0千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費	628千円	627千円	0千円	
	一般職員	628千円	627千円	0千円	
	所要人員	0.08	0.08		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト( + )		3,470千円	2,972千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	交付人数	活動	計画値	406 58	439 63	473 69
		対象者 (じん臓機能障害以外)の交付人数		実績値	294 36	252 36	
		対象者 (じん臓機能障害者)の交付人数		単位	人	人	人
	名称	交付率	活動	計画値	31 34	32 35	33 36
		交付人数 / 対象人数		実績値	29 25	24 26	
				単位	%	%	%
	名称	利用率	成果	計画値	52 53	53 54	54 55
		利用金額 / 交付金額		実績値	45 49	40 46	
				単位	%	%	%

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>当該事業以外の福祉移送サービス等を含めた移動支援について、個々のニーズに応じた支援につながるよう各移動支援の目的や対象者等の制度内容を整理し、更なる移動支援の充実に向け総合的な検証が必要である。第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定に併せて地域の障がい福祉サービス事業所や障がい者によるワーキング会議を開催し意見聴取を行う。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>当該事業及び福祉移送サービスや民間の福祉有償運送等の移動支援にかかる重度障がい者(児)のニーズを調査するとともに、第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定に併せて地域の障がい福祉サービス事業所や障がい者によるワーキング会議を開催し、外出の状況や現在の福祉移送サービスの利用目的の拡大等の要望や課題等の把握に努めた。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>タクシー料金助成事業の申請者に対し、適正に助成券の交付を行った。新たに市内のタクシー会社が認可を受け、令和3年度の協力事業者として調整を行った。移動支援となる資源調査として、県内の福祉有償運送及び介護タクシーの認可がある事業所について、調査を行った。第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定に合わせ、当事者や障がい福祉サービス事業所の支援員による地域自立支援協議会ワーキング会議を開催し、移動支援にかかる課題や意見を聴取した。</p>	<p>A</p> <p>計画どおり実施できた</p>
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>コロナの影響で、前年度と比較し、交付者数とともに利用率も減となった。市内のタクシー事業所が年度途中で営業を中止したが、新たな事業所が事業を引き継ぐこととなり、令和3年度に向けタクシー料金助成事業の協力事業者として調整し、利用者の利便性の向上につなげることができた。県内の移動に関する調査により地域資源として、利用可能な近隣市の事業所を把握することができた。地域自立支援協議会ワーキング会議では移動支援にかかる課題を把握することができた。</p>	<p>B</p> <p>まずまず成果を得た</p>

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>当該助成事業の他に、福祉移送サービス等の移動支援について、適切な対象者がそれぞれのニーズにあった支援となっているか。</p>	<p>今後の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡大  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持  <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> その他         </p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>第2次障がい者福祉計画の見直しにあたりアンケート調査を実施し、移動手段や社会参加に向けた障がい者の意向を把握し、対象者等改善すべき点があるか検討する。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>障がい者の社会参加の促進につなげることができる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	健康福祉部 地域福祉課 障がい者支援グループリーダー 新海 理恵
【最終評価者】	健康福祉部 地域福祉課長 麻生 俊哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	A	A	
	成果	A	B	B	B	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		3,400 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	3,400 千円
	令和3年度への繰越額	千円